

厚木連合 戸陵会だより

(株)パイオニア・マネジメント

経営コンサルタント 小島 條太郎 (高21回)
MBA

〒243-0003 厚木市寿町2丁目1番8-501号

PC address mrjo@mrjo.jp Mobile 090-3228-2886

平成25年度通常総会開催

年代を超えた“絆”深まる

厚木連合戸陵会

平成25年度通常総会は去る7月28日(日)、飯山元湯旅館に於いて、52名が参加。来賓として石川範義厚高同窓会長(高10回)をはじめ多くの近隣戸陵会の役員の方々にご臨席をいただき盛会に終了いたしました。

総会に先立ち、物故者への黙祷が捧げられた後、花上肇副会長(高11回)の「きょうういく」と、きょううようの「ユーモアあふれる開会の辞で始まり、石射隆宏会長(高14回)の「厚木連合戸陵会は、創設12年目という若い



元湯旅館で開催された平成25年度通常総会



伊藤藤子さん(高50回・左)と川井泉美さん(高53回・右)のデュエット演奏

同窓会組織ではありますが、昨年の110周年記念の関連事業においてはそれなりの活動、協力ができたものと思えます。」といった挨拶がありました。その後、遠藤伸安副会長(高10回)が議長に選任されて議事審議に入り次の5議案について審議されました。

1号議案：24年度活動報告(森久保幹事長より)、この中で、睦合、依知、南毛利、玉川・森の里各支部戸陵会の活動報告が各支部会長よりありました。

2号議案：24年度収支決算報告及び会計監査報告(足立原会計・足立会計監査より) 3号議案：25年度活動計画(案)(平野事務局長より) 4号議案：25年度収支予算(案)(足立原会計より) 5号議案：厚木連合戸陵会会則の一部改正(案)(平野事務局長より) このうち、1号議案及び2号議案、続いて3号議案及び4号議案については、満場一致で原案通り可決されました。又、5号議案については、事業のありかたについて質疑がありましたが、これも満場一致で原案通り可決されました。

ばらしい音色を披露していただきました。その後、会長から来賓として田中均厚木高等学校長、近藤俊二前同窓会会長(高6回)、小島

田中均 学校長

「総会の開催おめでとうございませう。同窓生の厚木高校に対するたいへん深い想いをひしひしと感じながら学校運営をいたしております。

今年度から、文科省の「スーパーサイエンスハイスクール(SHS)」の指定を受け、取り組み始めましたが、これに関連して厚木高校のためにご尽力いただいている同窓生がいらっしやいます。運営指導委員にJAXA並びに東京大学大学院の教授であられる海老澤研氏(サッカー部OB)をお願いしましたところ快くお引き受け頂き、その他にも、東京大学や東工大学の教授、准教授も名を連ねておりました、厚

菊代前同窓会副会長(中36回)をはじめ近隣戸陵会の役員さん方多くの方のご紹介があり、田中学校長と小島前副会長お二方よりご挨拶をいただきました。

木高校のSSHにふさわしい陣容となっております。おそらく全国的にもこんなに陣容が揃っているSSHはないだろうと思っております。

このほかにも、先日SSHに對しての文部科学省の視察があり、大臣官房の調査室長さんが来校されました。実は、この調査室長さんも厚木高校42回の卒業生ということでした。また、オーストラリア大使館にも勤めたことがあるということで、昨年オーストラリアの高校と姉妹校交流を始めていることを話したところ、その際はぜひ声をかけてほしい、といったお話もあり、あらためて同窓生の活躍ぶりに目を見張っているところでした。」

小島 菊代 前同窓会副会長

「4日前に89歳になりました。今でも「厚木高校」と聞きますと青春の血が騒いできます。

この間も野球の応援に球場まで行って来ました。借しくも3

「地元同窓会組織のまとめ役」として設立された私たち厚木連合戸陵会は、11年が経過しました。そしてコミュニケーションの環として4年目に創



「三刻魂」「厚高らしさ」を忘れずに
厚木連合戸陵会会長 石射 隆宏(高14回)

刊された本広報紙は仲間の交流を著実に育んでまいりました。創立110周年記念の各種イベントは大いに盛り上がりました。感を感じ、役員一同取り組ん

周年同様、運営面で中心的な役割を果たすことができました。関係役員のご尽力と同窓生皆さまのご支援、ご協力に厚くお礼申し上げます。



青春の血を燃やし続け熱弁を奮う小島先生

「甲子園」で開催されそれに出場しました。また、陸上競技では、大先輩の岡崎勝男氏が、大正13年のオリンピックで日本代表500メートル、1000メートルに出場しているんです。当時、岡崎氏は外交官でロンドン大使館付の書記官でした。このような立派な同窓生に巡り会えてとても嬉しい限りです。

株式会社山善では個人建設から公共事業に至るまで、技術と真心でお客様に喜ばれる実績を残しています。

百世の安堵を図るために、日本には建設業が必要です。

社長ブログ更新中!!

株式会社山善 YAMAZEN
TEL.046-288-1345 FAX.046-288-1222
〒243-0112 神奈川県愛甲郡清川村煤ヶ谷 3041

<http://www.yamazzen.co.jp/>

お陰様で優良法人(受) 県、市、優良施工店賞受賞 神奈川県建設業労働災害防止優良企業賞受賞

住まいの快適

リホーム 増減築

株式会社 小林リビング

代表取締役社長 小林知弥 (高8回)

厚木市山際570 (R129山際交差点) ☎046-245-3261

望みが沸き、趣きに親しむ、かくれ里の隠れた魅力。

あつぎ飯山温泉

元湯旅館

代表取締役 石川範義 (高10回)

神奈川厚木市飯山4916
TEL.046-242-0008(代) FAX.046-241-8975
●東京案内TEL.03-3207-0008 ●URL <http://www.motoyu.co.jp/>

特集

シリーズ 地域で活躍する同窓生

あつぎ飯山温泉「元湯旅館」

「美肌の湯」と評判の強アルカリ泉

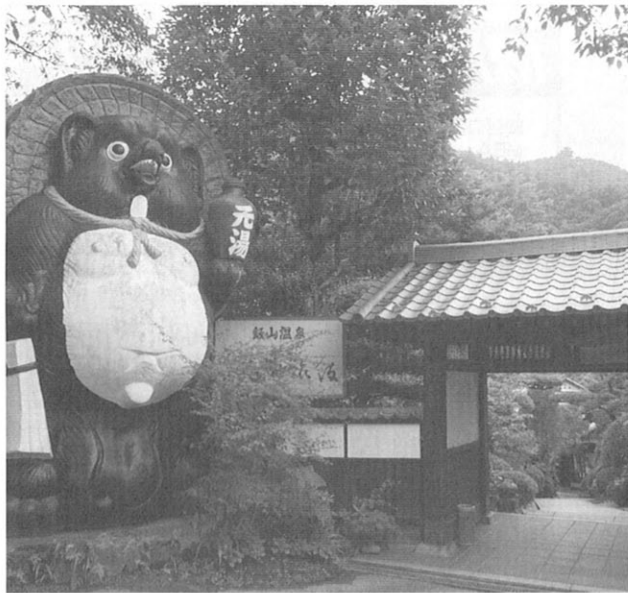
石川 範義社長(高10回)に聞く



石川 範義社長

あつぎ飯山温泉「元湯旅館」地誌」とは当時、明治政府が各社長の石川範義氏(高10回)は、県に作らせた地誌のことで、「郡家業の傍ら、厚高同窓会会長や厚木商工会議所会頭などの要職を務め、多忙な日々を送っている。そんな日々の合間を縫って話を伺った。

元湯旅館の創業は、江戸時代の後期といわれ、明治8年に出版された「皇国地誌」に当時の様子が紹介されている。「皇国の湯」として話題になっている。客室は、昔ながらの純和風な和室に、丁寧に装飾した床の間。床柱の名前を部屋の名前に使うなど、木への愛情は人知れず大



シンボルの「大ダヌキ」が出迎えてくれる元湯旅館

切にしている。各部屋までの小路や温泉につながる情景は、まるで城下町を歩いているかのよう。食事は、地元の旬を生かしたオリジナル会席料理。特に、タ

プレカット導入の(株)市川屋

市川 英美社長(高14回)にインタビュー

市川屋は明治、大正、昭和、平成と長い間七沢の地で木材に関わる地元企業として信頼に値する企業活動に専念してきた。昭和42年5月に株式会社「市川屋」(厚木市七沢305)を設立し、英美さんが3代目社長として本格的に製材業を再開し、平成2年7月にプレカット方式の機械を導入した。

プレカット方式というのは、建築主の計画を図面にした設計図を、CADといつてパソコンを使って加工図に書き換え、そのデータを機械が読み取り、全自動で木材を切ったり、削った



製材材の利用とプレカット方式の製材を進める市川屋

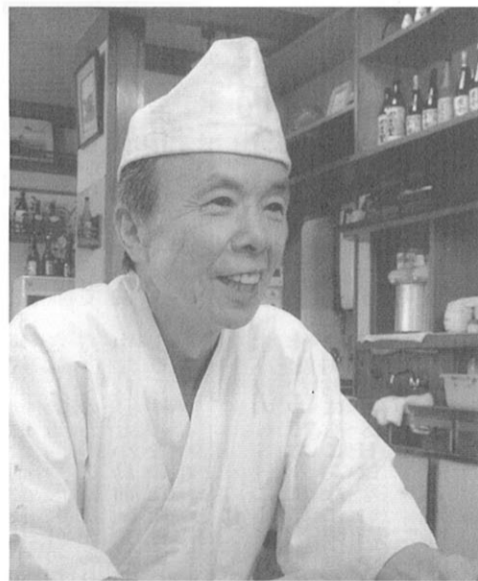


息子直氏(高43回)の説明を見守る市川 英美社長

ニシ料理は、ツブ貝のような淡泊で懐かしさあふれる味わいがある。また、厚木産の鮎を使った鮎の酢干しや新鮮な筍料理など、地場産の旬の素材をふんだんに使った料理は当館自慢の料理です。

社長の石川範義氏は「都会の喧嘩から離れ、山々や川の自然豊富な風景はみなさんに喜んでいただいています。全国の方々から愛される温泉宿にすることを心掛けています。」と笑顔を交えて話をしてくれた。

広報委員・頼住(高22回)



常に原材料にこだわる本物のそばを提供したいという店主の大矢氏



石臼挽自家製粉の店「浪花そば」

「手打ち 石臼挽き自家製粉の店 浪花そば」と大書された暖簾をくぐり、入り口を開けると「いらっしやいませ」という明るい奥さんの声に迎えられる。ここは厚木市で最初に石臼を導入した手打ちそば「うどんの老舗 浪花そば」である。創業は昭和44年、兄の食堂を肩代わりした時に、周囲の勧めもあり「手打ちそば」を志して大阪で修業する。その後、依知で開店し中町へ移転後、現在の荻野に店舗を

や県の施策を受けて4年前の平成21年から県産材を伐採し、製材する工場「フォレスト津久井」を開設した。箱根、丹沢、津久

「かたよらずこだわらず」とらわれず」をモットーに

「浪花そば」店主の大矢 辰典氏(高11回)

構えた。したがってその歴史は40年以上に及ぶ。店舗は明るい昔風の造りの雰囲気の中、小上がりの座敷席が10、椅子席が20である。大矢氏に今後の抱負を伺うと、常に原材料にこだわる本物のそばを提供したいと言

ちなみに玄そばは栃木県、茨城県、北海道産を中心に、毎日必要量を石臼で挽き、自家製粉して作る。また汁も本節、宗田節、日高昆布、椎茸のダシをアルカリイオン水でとっていると話す。その表情は、本物を追求する人だけが持つ自信に満ちたものであった。これからも2代目を継ぐ長男の繁雅さんと共に、お客様に喜ばれ続けるそば店を続けていきたいと言

井方面からの材木を選び込み構造材の8割強を製材し、県内の材木店に納めている。 広報委員・三橋(高18回)

サンパートナーズグループ
●税理士法人 サンパートナーズオフィス
●サンパートナーズオフィス 社会保険労務士事務所
●サンパートナーズオフィス 行政書士事務所

お集りやご会食に ひとりですごす現代湯治に
元湯 玉川館
山本 淳一(高14回)
243-0121 神奈川県厚木市七沢2776

内科・循環器内科
厚木ハートケアクリニック
http://www.atsugi-heartcare.com
院長 循環器専門医 伴野富佐子(旧姓・難波)

朝日新聞連載

『青春スクロール——母校群像記』

厚木高校編より

- 名取裕子 (55、高28回) 女優。厚高ではテニス部に所属。
- 六角精児 (51、高33回) 俳優。劇団扉座。厚高演劇部。
- 横内謙介 (51、高32回) 劇作家、劇団扉座主宰。高校劇の全国大会で優秀賞。
- 岡森諦 (51、高32回) 俳優。六角精児と共に劇団扉座創設期のメンバー。
- 小田切千 (43、高40回) NHKアナウンサー。厚高演劇部。
- 木原実 (52、高31回) 日本テレビのお天気キャスター。厚高演劇部育ち。
- 藤井貴彦 (41、高42回) everyのメインキャスター。高2までサッカー部。
- 平田修二 (66、高17回) 北海道演劇財団専務理事で演劇「札幌座」のチーフプロデューサー。「いきものがかり」メンバーの水野良樹 (30、高53回) と同級生の山下穂尊。
- 森口賢二 (40、高44回) オペラ歌手 (バリトン)。厚高では陸上部の中長距離選手。
- 平野公崇 (43、高40回) サクソフォン奏者。中学・高校と吹奏楽部でサクスを担当。
- 安田伸 (故人、高3回) クレージーキャッツのサクソ奏者。厚高の吹奏楽部を創部。
- 白井佳夫 (81、高3回) 映画評論家。1945年春に旧制厚木中学入学。
- 服部真澄 (高32回) 作家。書くことが好きで、「厚高新聞」に入部。
- 八木幹夫 (66、高17回) 詩人。石川啄木が好きで文芸部で詩作に熱中。
- 一ノ関忠人 (57、高27回) 歌人。大学で歌人の岡野弘彦に師事。
- 川村丈夫 (41、高43回) DeNA ベイスターズの投手コーチ。
- 大友良治 (43、高40回) 弁護士。厚高、立教大、社会人と野球を続ける。
- 難波浩 (71、高11回) 同窓会副会長。厚高第5代応援団長。
- 堀池薫子 (35、高49回) ダンスドリル部で活躍。NFLのデンバーブロンコスで3年連続チアリーダー。
- 島田悠司 (24、高59回) NPO法人「Youth for 3.11」の代表理事。厚高ではバドミントン部。
- 中村健太郎 (46、高37回) 住友林業筑波研究所の主席研究員。陸前高田の「奇跡の一本松」の種を発芽させ、子孫を育てている。
- 山下知津子 (63、高20回) 非政府組織「北朝鮮難民救援基金」監事。
- 甘利明 (63、高20回) 自民党衆議院議員、経済再生相。
- 熊坂隆光 (63、高19回) 産経新聞社社長。2年の時、高校弁論の日本一に。
- 田口芳雄 (63、高21回) 聖マリアンナ医科大学横浜市西武病院長。
- 石上純也 (39、高45回) 国際的に活躍する若手建築家。陸上部で三段跳びに励む。
- 岡田裕 (67、高15回) 萩焼を代表する作家で、山口県指定無形文化財。
- 内野勝 (57、高26回) 海老名市長。吹奏楽部でサクスを吹き、関東大会に出場。
- 榎本泰子 (45、高38回) 中央大学教授、比較文化の研究者。厚高では新聞部に所属。
- 三上正裕 (51、高33回) 北京の日本大使館公使。バスケットボール部に。
- 大貫広明 (59、高24回) 小松製作所開発本部商品企画室副室長。厚高時代は応援団活動。
- 杵淵郁也 (34、高49回) 東大大学院工学系研究科助教。



県や市から優良企業としての数々の賞を受賞



小林 知弥社長

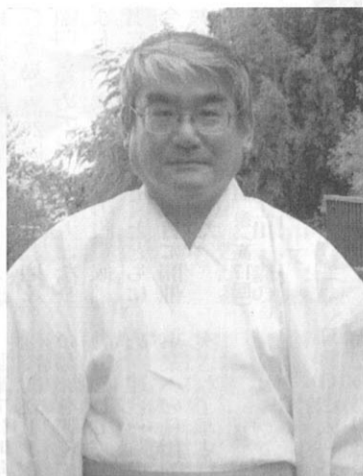
厚木市を南北に走る国道129号線の山際交差点東側に、清潔感漂うショールーム&オフィ

リフォームの(株)小林リビング
小林 知弥社長(高8回)に聞く

スを構える(株)小林リビング(厚木市山際570)を訪ねた。迎えてくれたのは、社長の小林知弥さん(高8回)。75歳という年齢を感じさせないてきぱきとした動作で姿勢も良く、声も大きい。会社は、一般建築業として住宅設備機器や水道・空調設備から管工事の設計・施工、LPガスや健康水の宅配まで営むという。創業は昭和43年、今年で45周年を迎えた。これまでの地道な努力が実を結び、市の優良施工店賞や県の優良水道設備店賞などを受け、地域での信頼と実績を積み、従業員も20人を超えるまでに成長した。

息子さんも専務として働いているが、最近、お孫さんも加わってくることが決まったそう、で優しいおじいちゃんとしての笑みもこぼれていた。

広報委員・齊藤(高30回)



宮司 姿も板についてきた

宮司さん(高30回)は、住まいのある市内林と金田から上依知までの依知地区の神社合計9社の宮司を引き継いだ。若い頃か

家業と生業の両立を目指して

宮司で税理士の水島 泉氏(高29回)

父親の家系は代々神職を務めてきた。いつの頃からか就いてきたのかは定かではないが、江戸時代後期の「新編相模風土記稿」の中には「神職水島齋宮吉田家の配下なり」という、私から数えて6代前のご先祖様についての記述がある。2年前に父が他界し、住まいのある市内林と金田から上依知までの依知地区の神社合計9社の宮司を引き継いだ。若い頃か

錦絵・菓子型・井籠・版本・写本など
和菓子に関する収集の大家

北川製館(有)の吉田隆一氏(高20回)

北川製館と呼ぶより「あんこ屋さん」の方が通りがいい。それほどに近在では名の知れたお店である。昭和3年に祖父の吉田貞蔵氏が厚木市旭町の現在地で製菓業を創業。以来85年、現在3代目の吉田隆一氏(高20回)が跡を継いでいる。



菓子やケーキの材料・道具が豊富な北川製館

製館と小売りの店であるが、以前は作った餡の多くを、しにせの和菓子屋に納めていたそうだが、「最近はこの和菓子屋も元気がない」という。本厚木駅の南口から徒歩3、4分の交差点の際に建つ北川製館、店内は菓子材料が所狭しと並べられている。北川製館社長の吉田氏にはもうひとつの顔がある。それは和菓子研究者として30余年にわたる菓子資料の収集である。この



吉田 隆一氏

コレクションは、錦絵、井籠など約3000点にのぼる。吉田氏は厚高時代歴史研究部に入り、市内各所の古墳の発掘に参加。大学在学中には自転車で行く一周、ヨーロッパ一周も。大学卒業後製菓学校に入学し、製菓作りを学ぶ。製菓店勤務の後、家業の製菓業に従事。その傍ら菓子教室を30年間主宰。この間、菓子研究を行うとともに関係資料を広く収集。厚木市の文化財保護調査員、市史編集委員などを務めている。

広報委員・池田(高19回)



東京赤坂の「虎屋」が吉田コレクションを展示・出版

つるくぼ
耳鼻咽喉科



日本医科大学講師・つるくぼ耳鼻咽喉科院長
医学博士 鶴窪一行 (高26回)
診療所/〒243-0018厚木市中町3-3-22
TEL.046-221-4187 FAX.046-225-4133

イトウスポーツ



代表取締役 伊藤 修治(高17回)

TEL.046(224)9397・(223)3458
FAX.046(221)0540 イトーヨーカドー西隣

SUGITA
土地・建物・賃貸・売買・分譲
不動産のことなら何でもご相談ください
株式会社 杉田商事

代表取締役 杉田 泰繁(高14回)

〒243-0014 神奈川県厚木市旭町2-1-17

TEL 046-228-4581 FAX 046-228-6078

E-mail sugital@rose.ocn.ne.jp
URL http://www.sugitasyoji.co.jp

支部二ニュース

《南毛利戸陵会》

ホームページを開設

と書いています。

会長・神崎愷(高13回)

平成24年に新執行部で発足した南毛利戸陵会は、3年に1回の全体総会、毎年の幹事会を兼ねた総会を開催しています。本年度は若干遅れて5月8日、長谷の美代寿司にて総会・幹事会を参加者25名で開催し、最後は校旗の元で恒例の校歌合唱で盛会の内に幕を閉じました。

本年は新たな企画として南毛利戸陵会のホームページの立ち上げを審議頂き、月末にはオンラインに至りました。まだ未完成の部分も多いのですが、今後はページの充実を図って行きたい

- ・南毛利戸陵会ホームページアドレス
http://www.nanmori-koryokai.jp
- ・厚木連合戸陵会
http://www.rengo.nanmori-koryokai.jp
- ・さくら戸陵会
http://www.sakura.nanmori-koryokai.jp

《玉川・森の里戸陵会》

《荻野戸陵会》

玉川・森の里戸陵会は、小さな会ではありますが、毎年文化講演会や懇親会を開いたり、昨年度は110周年記念として、「懐い出の杜」に記念植樹をしたりしました。今年も文化講演会や懇親会の他に「玉川を遡る」ということでハイキングを予定しております。

こうして取り組みを会員の皆様に知っていただくために、「玉川・森の里戸陵会だより」を年1回発行いたしております。A4版の表・裏2ページの構成ですが、印刷し、「厚木連合戸陵会だより」と一緒に配布いたしております。こうした「たより」が会員を結びつけ、お互いに繋がっていくことを期待しています。 広報委員・三橋(高18回)

《依知戸陵会》

6月8日に役員会を開催し、11人が出席。新たに大塚定男氏(狼ヶ島高20回)を幹事に迎えました。また、女性の役員候補者にアタックしていくとともに、今年度の総会を10月16日に開催することで決定しました。 会長・都高泉(高17回)

《厚木戸陵会》

平成25年度通常総会及び懇親会が8月18日、連合の石射隆宏会長(高14回)をゲストに迎え、役員・会員16名の参加のもと上海菜館にて開催されました。 議事では昨年の活動として、母校創立110周年記念行事への参加を報告。また本年の活動計画として、会員の増強をはじめ、連合戸陵会及び同窓会本部事業への積極的参加と協力が提案されました。 広報委員・池田(高19回)



南毛利戸陵会のホームページ

同窓会総会開催される

講演に島田 悠司氏(高59回)

平成25年6月22日、厚木商工会議所において平成25年度通常総会が開催されました。総会開会に先立ち、物故者への黙祷が捧げられた後、杉田泰繁副会長(高14回)の開会の辞、石川範義同窓会長の挨拶、及び田中均中学校長の挨拶がありました。

その後、議長団として落合重治氏(高13回)及び遠藤伸安氏(高10回)が選任されて、議事審議に入りました。24年度活動報告

24年度活動報告 議長入りしました。

24年度活動報告 議長入りしました。

24年度活動報告 議長入りしました。

24年度活動報告 議長入りしました。

24年度活動報告 議長入りしました。

24年度活動報告 議長入りしました。

24年度活動報告 議長入りしました。

会長	石射 隆宏	南毛利戸陵会	高 14
副会長	遠藤 伸安	厚木戸陵会	高 10
副会長	都高 泉	依知戸陵会	高 17
副会長	下川 信好	睦合戸陵会	高 14
副会長	花上 肇	荻野戸陵会	高 11
副会長	志村 昂二	小鮎戸陵会	高 15
副会長	神崎 愷	南毛利戸陵会	高 13
副会長	高橋 増次	玉川・森の里戸陵会	高 11
副会長	高橋 将	相川戸陵会	高 14
幹事長	森久保純生	小鮎戸陵会	高 16
事務局長	平野 亮二	睦合戸陵会	高 27
会計	足立 原強	厚木戸陵会	高 16
会計	二見 政宏	相川戸陵会	高 16
会計監査	足立 一彦	睦合戸陵会	高 17
会計監査	藤野 心	厚木戸陵会	高 34
顧問	小澤 澄男	南毛利戸陵会	高 3
顧問	梅澤 行次	依知戸陵会	高 7
顧問	神崎 英男	荻野戸陵会	高 9

委員長	難波 角三	荻野戸陵会	高 16
副委員長	三橋 敬司	玉川・森の里戸陵会	高 18
副委員長	池田 清	厚木戸陵会	高 19
会計	小島 聡	南毛利戸陵会	高 33
委員	毛利 澄夫	相川戸陵会	高 20
委員	頼住 道夫	小鮎戸陵会	高 22
委員	小島 勉	睦合戸陵会	高 22
委員	齊藤 淳一	依知戸陵会	高 30

委員長	中山 和男	睦合戸陵会	高 26
副委員長	本杉 貴生	小鮎戸陵会	高 17
副委員長	大貫 亨	南毛利戸陵会	高 17
会計	黄金井哲也	玉川・森の里戸陵会	高 18
委員	林 貢	依知戸陵会	高 11
委員	高瀬 賢士	荻野戸陵会	高 16
委員	上原 誠	厚木戸陵会	高 20
委員	小塩 恒夫	相川戸陵会	高 20

アイフォーコムグループ
グループ代表 CEO 加川広志 (高25回)

eco pro 21
コンサルティング & ERP
経営戦略・業務プロセスやIT等、高い専門性を備えたプロ集団によるソリューションを展開

業務内容

- システム開発
システムの設計から開発、導入、運用まで総合サポート
- 同窓会開催サポート
案内状の発送等ご相談ください

新しい技術で、未来を明るく笑顔にする企業

笑顔創造 Creating Smile

グループ本社 042-784-5700 (代)
〒252-0157 相模原市緑区中野 1326 加川ビル

厚木開発センター 046-297-7381 (代)
〒243-0018 厚木市中町 2-6-10 東武太田ビル 8F

本は豊かな明日への心の広場

教科書 取

(有)内田屋書房
☎046-221-4631

代表取締役 内田 喜康 (高13回)

- 厚木市泉町4-1 第五内田ビル3F
- 東京農大厚木キャンパス店

丹沢大山国定公園 廣澤寺温泉

玉翠楼

本山 勝男 (高14回) 本山 豊 (高16回)

〒243-0121 神奈川県厚木市七沢2607

TEL 046-248-0011 オーイー

FAX 046-248-0126 オーイーフロ

gyokusuiro.com